

|          |   |     |  |
|----------|---|-----|--|
| 科目       | 保健・体育（後期/テニス）(Health and Physical Education)  |     |  |
| 担当教員     | 寺田 雅裕 教授  |     |  |
| 対象学年等    | 応用化学科・3年・通年・必修・2単位(学修単位I)   |     |  |
| 学習・教育目標  | C3(100%)  |     |  |
| 授業の概要と方針 | 運動を自主的に行わせることによって、積極的に運動を実施する習慣を育て、生涯体育につながる能力を養う。また、健全な社会生活を営む能力や態度を養い、健康・スポーツに関する基礎知識や体力の養成を目的とする。（種目：テニス/ソフトテニス） |     |  |
|          | 到達目標  | 達成度 | 到達目標毎の評価方法と基準  |
| 1        | 【C3】テニス/ソフトテニスのルールや審判法を学び、基本動作であるラケット操作を習得する。また、基本的な戦術・戦略を学び、正規ルールによるゲームができるようにする。                                  |     | テニス/ソフトテニスのルール・審判法・ラケットコントロール・戦術・戦略などを理解、習得できているかどうかを評価する。 |
| 2        | 【C3】毎時間ストレッチとサーキットトレーニングを行うことにより、継続的な体力増進・傷害予防に関する知識と技能を習得する。また、各種目の練習方法を学び、段階的な技能習得を図る。                            |     | 健康増進・傷害予防・技能習得に関して毎時間ごとの習熟度（関心・意欲・思考・技能・知識）を評価する。          |
| 3        | 【C3】新体力テストを実施することにより、各自の体力を評価し、その結果を分析して不足している能力の向上を図る。   |     | 新体力テストの点数を、評価する。   |
| 4        |   |     |  |
| 5        |   |     |  |
| 6        |   |     |  |
| 7        |   |     |  |
| 8        |   |     |  |
| 9        |   |     |  |
| 10       |   |     |  |
| 総合評価     | 到達目標毎1 = 50% , 到達目標毎2 = 40% , 到達目標3 = 10%で評価する。100点満点で60点以上を合格とする。  |     |  |
| テキスト     | MY SPOTS : 大修館書店<br>増補版「保健体育概論」: 近畿地区高等専門学校体育研究会編(晃洋書房)   |     |  |
| 参考書      |   |     |  |
| 関連科目     | 特になし  |     |  |
| 履修上の注意事項 |   |     |  |

